

平成25年度青少年教育施設のあり方を考える懇話会における総合評価シート

平成25年9月25日

施設名	幡多青少年の家	所管課室	生涯学習課
-----	---------	------	-------

1. 施設の概要

施設所在地	幡多郡黒潮町上川口1166
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営に関すること ・施設の利用の許可に関すること ・設備の維持管理に関すること ・主催事業及び受入事業の企画運営に関すること <p><平成24年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくチャレンジ ・泊まってドキドキ！遊んでワクワク！ ・心のふれあいーシルバー編ー ・メリークリスマス ・中学生リーダー研修 など
施設内容	<p>幡多青少年の家においては、本県の基本的教育課題である「心豊かで自立できる人づくり」の理念を達成するため、当所の目標を掲げ、また随時運営方針を見直しながら、事業の2つの柱である受入事業及び主催事業を実施している。</p> <p>構造：本館 鉄筋コンクリート 2階建 延べ2,655.55㎡ 体育館 鉄筋コンクリート2階建 延べ1,192.26㎡</p> <p>施設概要： 本館宿泊棟 25室(定員200名) 食堂 (定員200名) 大研修室(映写室)(定員200名) 中研修室(定員50名×2室) 小研修室(定員20名) 和室(8畳・6畳) 茶室 野外炊飯棟 115.52㎡</p>
職員体制	<p>職員：所長 1名、チーフ1名、主任1名、主任社会教育主事2名、非常勤職員2名、臨時的任用職員3名 合計：10名 現業部門は大方青少年育成会に委託(9名)</p>

2. 利用実績

(1) 宿泊者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
宿泊者数	10,697	10,609	9,842	9,106	8,890	9,829

(2) 利用団体数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
利用数	520	581	565	545	509	544

(3) 利用者数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平均
人数	28,665	27,052	27,773	27,247	26,309	27,409

3. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然環境(山、川、海)に恵まれた施設の立地条件を最大限に活かして多様な事業を展開している。 ○施設利用者が少ない地域を訪問するなど、利用者の拡大に努めている。 ○新たに施設利用案内のチラシを作成し、啓発に力を入れ、施設の魅力を幅広く情報発信している。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研修へ積極的に参加するとともに、全職員で主催事業の企画・立案をすることにより、職員の能力の向上につなげている。 ○利用者アンケートや活動中の情報収集により利用者ニーズの把握をし、所内で課題やニーズを共有することで、早期改善に努めている。 ○全職員が実地調査をして避難経路の確認や見直しを行うなど、非常時に備え万全な体制を整え、利用者が安心して活動できるように努めている。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幡多青少年の家と財団法人大方青少年育成会の全職員が日頃から情報共有に努めており、主催事業の実施内容の検討をはじめ、当日の受入対応、事業実施後の振り返りに至るまで協働した取り組みを行っている。 ○施設各部署の管理責任者のもと、定期的な安全点検を実施し、施設環境の整備を迅速に行っている。
④利用実績	<p>○平成23年度と比較して、宿泊者数は216名の減少、利用団体数は36団体の減少、利用者数は938名減少している。</p>
⑤収支の状況	<p>○宿泊者数が減少したことにより、平成23年度と比較して、使用料収入は203千円の減収となった。</p>
<p style="text-align: center;">総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 50px; font-size: 24px; font-weight: bold;">A</div>	<p>○自然環境を活かした多様な事業展開と、利用に向けた啓発に努めることで、施設の事業認知度は格段に向上している。</p> <p>○お互いにアイデアを出して事業の企画・立案をするなど、施設職員が一体となり、運営や人材育成に取り組んでいる。</p> <p>○課題となっている閑散期の利用拡大に向けて、さらに魅力的な事業展開を期待する。</p> <p>○児童生徒数が減少する中、複数学校による合同研修や長期休暇期間中の自主事業を工夫することによって、1人でも多くの子どもたちに施設を利用してもらえる取組みを期待する。</p>